

(参考資料 1-3) <学部長用>

集計表

法人化後の学部における
運営管理に関する
全国調査

2008年12月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、**学部長**を対象としたものです。学部長の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、**複数回答・単一回答の指示に注意**してご回答ください。
3. 回答は、**調査票に直接ご記入下さい**。
4. 記入の済んだ調査票は、同封の返信用封筒をご使用の上、**2009 年 2 月 2 日（月）までにご返送ください**。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。ご不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

法人化前と現在の状況を比較し、以下の質問について最も当てはまる番号を選び、○印をして下さい。

1 ガバナンス

問1 対本部

(1) 学長の学部事務の意思決定に関する影響力は、どのように変化したと思われますか。
(n=263)

1. 大きくなった	36.5
2. やや大きくなった	45.6
3. かわらない	15.6
4. やや低下した	1.5
5. 低下した	0.8

(2) 理事（事務局長）の学部事務の意思決定に関する影響力は、どのように変化したと思われますか。(n=261)

1. 大きくなった	27.2
2. やや大きくなった	46.7
3. かわらない	23.4
4. やや低下した	1.1
5. 低下した	1.5

問2 学部・研究科

(1) 学部の意思決定における学部長の役割は、どのように変化したと思われますか。(n=264)

1. 大きくなった	13.3
2. やや大きくなった	46.2
3. かわらない	28.4
4. やや低下した	8.7
5. 低下した	3.4

(2) 本部（役員会の方針）の方針の影響力は、どのように変化したと思われますか。(n=264)

1. 大きくなった	56.4
2. やや大きくなった	39.0
3. かわらない	4.5
4. やや低下した	0.0
5. 低下した	0.0

(3) 学部内の意思決定における学部長のリーダーシップは、どのように変化したと思われますか。(n=265)

1. 増えた	20.4
2. やや増えた	46.8
3. かわらない	26.0
4. やや少なくなった	4.9
5. 少なくなった	1.9

(4) 学部長として次の学部予算の費用について管理責任と権限を有している程度は、現在どのような状況ですか。

①人件費(n=260)

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 完全に管理 | 21.5 |
| 2. 特定部分（学部非常勤教職員等）のみ管理 | 41.5 |
| 3. 全く管理せず | 37.3 |

②物件費(n=258)

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 完全に管理 | 37.2 |
| 2. 特定部分のみ（具体的に）管理 | 40.3 |
| 3. 全く管理せず | 22.5 |

③競争的資金の間接経費(n=257)

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 完全に管理 | 31.5 |
| 2. 特定部分のみ（具体的に）管理 | 41.6 |
| 3. 全く管理せず | 26.8 |

④施設維持管理費(n=256)

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 完全に管理 | 30.9 |
| 2. 特定部分のみ（具体的に）管理 | 29.7 |
| 3. 全く管理せず | 39.5 |

2 資源

問3 資金

(1) 本部から配賦される学生当たり教育経費は、どのように変化しましたか。(n=264)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 0.0 |
| 2. やや増加した | 2.3 |
| 3. かわらない | 32.6 |
| 4. やや減少した | 34.1 |
| 5. 減少した | 31.1 |

(2) 本部から配賦される教員当たり研究経費は、どのように変化しましたか。(n=263)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 0.0 |
| 2. やや増加した | 1.5 |
| 3. かわらない | 12.5 |
| 4. やや減少した | 39.9 |
| 5. 減少した | 46.0 |

(3) 学部長裁量経費は、どのように変化しましたか。(n=255)

- | | |
|--------------|------|
| 1. 増加した | 14.9 |
| 2. やや増加した | 21.6 |
| 3. かわらない | 27.8 |
| 4. やや減少した | 14.1 |
| 5. 減少した | 9.4 |
| 6. 法人化前はなかった | 12.2 |

(4) 学部共通経費は、どのように変化しましたか。(n=259)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 3.9 |
| 2. やや増加した | 12.7 |
| 3. かわらない | 27.0 |
| 4. やや減少した | 33.6 |
| 5. 減少した | 22.8 |

(5) 学生当たり教育経費の充足度は、どのように思われますか。(n=266)

1. 十分である	0.4
2. どちらかといえば十分	2.6
3. どちらともいえない	9.4
4. どちらかといえば不十分	37.2
5. 不十分である	50.4

(6) 教員当たり研究経費の充足度は、どのように思われますか。(n=265)

1. 十分である	0.0
2. どちらかといえば十分	2.6
3. どちらともいえない	6.0
4. どちらかといえば不十分	25.3
5. 不十分である	66.0

問4 人員

(1) 学部または研究科所属常勤教員の定員枠（学長管理分は除く）は、どのように変化しましたか。(n=264)

1. 増加した	0.4
2. やや増加した	1.5
3. かわらない	14.4
4. やや減少した	33.0
5. 減少した	50.8

(2) 職員（技術職員を含む）の定員枠は、どのように変化しましたか。(n=263)

1. 増加した	0.4
2. やや増加した	0.0
3. かわらない	15.2
4. やや減少した	39.5
5. 減少した	44.9

(3) 学部の非常勤教員の数は、どのように変化しましたか。(n=263)

1. 増加した	4.9
2. やや増加した	16.7
3. かわらない	20.9
4. やや減少した	27.4
5. 減少した	30.0

(4) 学部の任期付き教員の数は、どのように変化しましたか。(n=246)

1. 増加した	27.2
2. やや増加した	30.1
3. かわらない	39.0
4. やや減少した	1.6
5. 減少した	2.0

(5) 学部の非常勤職員の数は、どのように変化しましたか。(n=264)

1. 増加した	16.7
2. やや増加した	34.1
3. かわらない	25.4
4. やや減少した	15.5
5. 減少した	8.3

(6) 学部の任期付き職員の数は、どのように変化しましたか。(n=247)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 10.9 |
| 2. やや増加した | 27.1 |
| 3. かわらない | 52.2 |
| 4. やや減少した | 8.1 |
| 5. 減少した | 1.6 |

(7) 学部学術スタッフの充足度は、どのように変化しましたか。(n=254)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 高まった | 0.8 |
| 2. やや高まった | 7.1 |
| 3. かわらない | 42.1 |
| 4. やや低下した | 30.7 |
| 5. 低下した | 19.3 |

(8) 学部事務支援スタッフの充足度は、どのように変化しましたか。(n=257)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 高まった | 0.4 |
| 2. やや高まった | 8.2 |
| 3. かわらない | 33.5 |
| 4. やや低下した | 39.7 |
| 5. 低下した | 18.3 |

(9) 今後の学部教員の人事について、どのようにお考えですか。(n=257)

- | | |
|--|-------|
| 1. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させ、補充等を行わない。 | 18.7 |
| 2. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させるが、任期付き教員や非常勤教員で不足を補う。 | 40.1 |
| 3. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させ、外部資金を財源にした特任教員等を雇用して補う。 | 22.6 |
| 4. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させ、外部資金を積極的に獲得し、特任教員等の数を増やし、現状よりも教員スタッフを充実させる。 | 12.8 |
| 5. その他（具体的に | ） 5.8 |

3 活動（標準的な教員を念頭にお答え下さい。）

問5 教育

(1) 教育全体に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 33.1 |
| 2. やや増加した | 36.1 |
| 3. かわらない | 14.3 |
| 4. やや減少した | 9.8 |
| 5. 減少した | 6.8 |

(2) 教育成果について学生満足度等の指標は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 高まった | 7.1 |
| 2. やや増加した | 51.5 |
| 3. かわらない | 34.2 |
| 4. やや減少した | 5.6 |
| 5. 減少した | 1.5 |

(3) 講義・演習の準備時間は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増加した	13.2
2. やや増加した	39.8
3. かわらない	30.1
4. やや減少した	12.0
5. 減少した	4.9

(4) 講義・演習以外に学生に接する時間は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増加した	5.3
2. やや増加した	27.1
3. かわらない	30.5
4. やや減少した	23.3
5. 減少した	13.9

問6 研究

(1) 研究に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増えた	1.5
2. やや増えた	4.9
3. かわらない	14.7
4. やや減った	54.9
5. 減った	24.1

(2) 研究成果について論文・学会発表の件数は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増えた	3.4
2. やや増えた	29.3
3. かわらない	34.6
4. やや減った	24.8
5. 減った	7.9

(3) 研究成果について論文・学会発表の質・内容は、どのように変化したと思われますか。
(n=265)

1. 向上した	1.5
2. やや向上した	20.4
3. かわらない	53.6
4. やや低下した	20.8
5. 低下した	3.8

(4) 外部資金の獲得に割く時間・労力が、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増加した	44.0
2. やや増加した	45.9
3. かわらない	6.8
4. やや減少した	2.3
5. 減少した	1.1

問7 社会貢献

(1) 社会貢献に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増えた	30.5
2. やや増えた	51.9
3. かわらない	15.8
4. やや減った	0.8
5. 減った	1.1

(2) 社会貢献の質は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 高まった	15.8
2. やや高まった	56.8
3. かわらない	23.3
4. やや低下した	3.0
5. 低下した	1.1

(3) 社会貢献の範囲・種類は、どのように変化したと思われますか。(n=265)

1. 増えた	31.7
2. やや増えた	57.4
3. かわらない	10.2
4. やや減った	0.0
5. 減った	0.8

問8 学内・学部内事務

(1) 学内及び学部の管理運営に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。
(n=266)

1. 増えた	65.8
2. やや増えた	30.1
3. かわらない	3.0
4. やや減った	0.8
5. 減った	0.4

(2) 特に増加した事務・業務を一つ上げてください。

()

4 環境（学部長としての日常生活を念頭にお答え下さい。）

問9 生活時間

(1) 労働時間全体（教育・研究・社会貢献・学内活動）は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増えた	74.1
2. やや増えた	19.5
3. かわらない	5.3
4. やや減った	0.8
5. 減った	0.4

(2) 自由な時間は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

1. 増えた	0.0
2. やや増えた	0.8
3. かわらない	3.8
4. やや減った	18.4
5. 減った	77.1

- (3) もし可能なら**標準的な平日の過ごし方**（起床から就寝まで）を、教育、研究、学内事務、社会貢献（医学部の場合には診療活動を含みます）、食事、休憩・運動、家事（家族と過ごす時間を含みます）、通勤、その他に区分してお示ください。

標準的な平日の生活時間

	(例示)	(実態)
0		
1		
2	睡眠	
3		
4		
5		
6	家事	
7	食事	
8	通勤	
9	学内事務	
10	(委員会出席、資料作成、打合せ)	
11		
12	食事(30分)/教育(準備・学生面談)	
13	教育(講義・学生指導)	
14		
15		
16	研究(実験・論文執筆等)	
17		
18	社会貢献(地域向け講演会)	
19	通勤	
20	食事・家事	
21	学内事務(持ち帰り)	
22	研究	
23		
24		

問10 職場環境

(1) 職場の雰囲気は、どのように変化したと思われますか。(n=262)

1. 良くなった	3.1
2. やや良くなった	7.6
3. かわらない	48.5
4. やや悪くなった	32.8
5. 悪くなった	8.0

(2) 教職員の心身トラブルは、どのように変化したと思われますか。(n=264)

1. 増えた	21.6
2. やや増えた	61.0
3. かわらない	16.7
4. やや減った	0.8
5. 減った	0.0

(3) 教員の離転職（定年退職を除く）は、どのように変化したと思われますか。(n=263)

1. 増えた	5.7
2. やや増えた	31.6
3. かわらない	61.2
4. やや減った	1.5
5. 減った	0.0

問11 同じブロックにある有力私立大学（地域を代表する私立大学）と比較して

(1) 自大学の教育環境をどのようにお考えですか。(n=256)

1. 良い	35.5
2. やや良い	32.0
3. 同じ程度	11.7
4. やや悪い	14.5
5. 悪い	6.3

(2) 自大学の研究環境をどのようにお考えですか。(n=255)

1. 良い	35.3
2. やや良い	38.0
3. 同じ程度	11.8
4. やや悪い	10.2
5. 悪い	4.7

(3) 自大学の雇用環境をどのようにお考えですか。(n=253)

1. 良い	14.6
2. やや良い	28.5
3. 同じ程度	29.2
4. やや悪い	19.8
5. 悪い	7.9

(4) 教育条件からみて自大学の授業料をどのようにお考えですか。(n=257)

1. 高い	5.1
2. やや高い	10.9
3. 同じ程度	17.9
4. やや安い	47.1
5. 安い	19.1

(5) 国立大学における学部別授業料の設定について、どのようにお考えですか。(n=256)

1. 望ましい	13.3
2. いくぶん望ましい	18.0
3. どちらともいえない	24.6
4. やや望ましくない	14.8
5. 望ましくない	29.3

5 法人化の評価

問12

(1) 学部事務の効率化について、どのようにお考えですか。(n=261)

1. プラス	2.7
2. ややプラス	21.5
3. どちらともいえない	28.7
4. ややマイナス	29.9
5. マイナス	17.2

(2) 学部の教育活動の活性化について、どのようにお考えですか。(n=264)

1. プラス	2.7
2. ややプラス	36.4
3. どちらともいえない	31.4
4. ややマイナス	20.1
5. マイナス	9.5

(3) 学部の研究活動の活性化について、どのようにお考えですか。(n=264)

1. プラス	4.2
2. ややプラス	18.6
3. どちらともいえない	26.1
4. ややマイナス	30.3
5. マイナス	20.8

(4) 学部の社会貢献活動の活性化について、どのようにお考えですか。(n=264)

1. プラス	11.4
2. ややプラス	54.2
3. どちらともいえない	26.9
4. ややマイナス	5.7
5. マイナス	1.9

(5) 国立大学法人の学長に就任要請されたら、どのように対応されますか。(n=262)

1. 受諾する	5.7
2. 個人的にはやりたくないがやむを得ず受諾する	9.2
3. わからない	28.2
4. 断る方向で動く	16.4
5. 断る	40.5

6 属性（該当する番号に○印をして下さい）

問13

(1) 学部・研究科の種類は、以下のどれですか。(n=261)

1. 理工系	30.3
2. 農学系	10.3
3. 文科系	28.4
4. 医歯薬学系	19.9
5. その他	11.1

(2) 年齢は、以下のどの区分に該当しますか。(n=261)

1. 40 歳以下	0.0
2. 40 歳から 44 歳	0.0
3. 45 歳から 49 歳	0.8
4. 50 歳から 54 歳	9.2
5. 55 歳から 59 歳	41.0
6. 60 歳以上	49.0

(3) 学部長に就任されてから、現在までの経過年数は、以下のどれに該当しますか。(n=262)

1. 6ヶ月未満	3.8
2. 6ヶ月から 1 年未満	34.0
3. 1 年から 2 年未満	29.8
4. 2 年以上	19.8
5. 現在を含め 2 回以上経験している	12.6

(4) 性別は、次のどれですか。(n=262)

1. 男性	96.9
2. 女性	3.1

(5) 経歴（該当する番号**全て**に○印）は、以下のどれに該当しますか。(n=266)

	該当	該当なし
1. 私立大学の勤務経験あり	14.3	85.7
2. 民間企業・官庁などの勤務経験あり	13.5	86.5
3. 国公立及び企業・団体等の研究所の勤務経験あり	29.7	70.3

(6) 御所属の大学特性(別表をご参照下さい)は、以下のどれに該当しますか。(n=262)

1. 旧帝大	19.5
2. 教育大	3.1
3. 理工大	3.8
4. 文科大	2.3
5. 医科大	0.8
6. 医学部を有する総合大	55.7
7. 医学部を有しない総合大	11.5
8. 大学院大学	3.4

別表

旧帝大	北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学
教育大	北海道教育大学、宮城教育大学、東京学芸大学、上越教育大学、愛知教育大学 京都教育大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学、鳴門教育大学 福岡教育大学、鹿屋体育大学
理工大	室蘭工業大学、帯広畜産大学、北見工業大学、筑波技術大学、東京農工大学 東京工業大学、東京海洋大学、電気通信大学、長岡技術科学大学、名古屋工業大学、 豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、九州工業大学
文科大	小樽商科大学、東京外国語大学、東京芸術大学、一橋大学、滋賀大学、
医科大	旭川医科大学、東京医科歯科大学、浜松医科大学、滋賀医科大学
医総大	弘前大学、秋田大学、山形大学、筑波大学、群馬大学、千葉大学、新潟大学、 富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、三重大学、 神戸大学、鳥取大学、島根大学、岡山大学、広島大学、山口大学、徳島大学、 香川大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学 宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学
医無総大	岩手大学、福島大学、茨城大学、宇都宮大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、 横浜国立大学、静岡大学、奈良女子大学、和歌山大学
大学院大	政策研究大学院大学、総合研究大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、 奈良先端科学技術大学院大学

質問は以上です。調査にご協力いただき、ありがとうございました。